

令和5年度 宮崎県立妻高等学校 学校関係者評価

学校関係者評価 【 4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：検討の余地がある 1：不十分である 】

重点目標	評価項目	分掌	評価欄 4・3・2・1	学校関係者評価コメント欄
確かな学力の向上	① 基礎学力の定着	教務部	2.5	<p>○やる気がある子とない子との格差が広がっている気が。何かない子の対策を。</p> <p>○基礎学力は、中学時代からしっかり付ける必要がある。</p> <p>○クラッシーの導入について。行うことでのメリット、デメリットについて。今後、検証をお願いします。</p> <p>○予定した方策・手立ては実施されているが、数値目標に到達できてない点で自己評価が低いが、今回の結果に基づいて、方策・手立ての改善を行っていくことが大切である。</p> <p>○学習内容の定着のためには、家庭学習が大切だと思います。部活等でなかなか大変かとは思いますが、1・2年生の取組がもう少し向上するような啓発が必要だと思います。</p> <p>○「宅習の習慣化」については、本人の自覚によるところが大きいため、大変苦慮されていると思う。</p> <p>○1学年の欠点者延べ人数が目標の倍近くに増えている点は、しっかり検証していただきたい。</p> <p>○基礎学力の定着について、検討をされて、実行に移されている様子は分かりました。しかし、(自)宅(学)習時間=定着を図る時間、と一見見えてしまい、とてももったいないと思っています。宅習時間の有効活用を考えていくことは重要ですが、欠点者はもしかすると学習方法が確立されていない、その状態のまま自主的な宅習に委ねる方が基礎学力が定着しない可能性が考えられます。すでにされていると思うのですが、教材の選定 (ICT教材も含め)、学習内容・学習手段の見直しをするなども、問題作成の見直しとともに検討いただくのもいいかなと思います。</p>
	② 学習指導法の改善 ・授業力の向上	教務部	3.4	<p>○欠点者に関しては、今後も課題に対して追求していただきたい。</p> <p>○ICT化は積極的に実施していただき、先生方や生徒、保護者も、経験が必要でしょう。例えばリモートで参観をするとかどうでしょうか。自分の子供がどんな授業を受けているか、見てみたい保護者もいるのでは。</p> <p>○よく取り組まれている。強いてあげれば、中学校との教科交流会を実施した効果がどのような点にあるかを議論するとよいのではないかと。</p> <p>○各教科の授業理解度が全体で91.2%となり、担当の先生方の授業の工夫・改善が生徒さんの実態に上手く合っているのだと思います。</p> <p>○目標を達成している。引き続き、学習指導法の改善・授業力の向上に努めていただきたい。</p> <p>○授業公開や教科交流会の実施など、授業改善・授業力向上に努めていただいていることはよく理解できました。そのうえで、一点数値が出ているので、考えていただくと良いと思うのは、「授業内容をある程度理解できている」が全学年90%を超えているのに、欠点者が155名という数字になっている点に矛盾を感じます。生徒たちの自己認識と実際の学習評価が繋がっていないとすれば、①理解できていないのに、理解できていると思っている、②理解できているが、テストがその評価が十分にできていない。③理解できていたが、定着が履かれていない、などが考えられると思います。もしも、①であれば、授業の見直し、②ならテスト設計でしょうし、③なら学習定着方法の見直しなのだと考えられると思うのですが、教務部としてどのように分析されているのでしょうか。上記の「① 基礎学力の定着」教務部なのでどう分析されているのか気になります。</p>
	③ 進路確定の支援	進路指導部	3.1	<p>○職場体験や地域学習など、進路を決定するための色々な取組がなされている。</p> <p>○妻高校は4の学科があるため、進路指導には先生方も大変だと思います。今後ご苦勞をおかけしますが、よろしくお願いします。</p> <p>○結果の考察が明確に示されていない。数値目標がすべてではないが、評価指標であるから、それに対する結果は明確に示してほしい。</p> <p>○進路を確定させるために様々な取組をされていると思うが、しっかり分析を行い、生徒が将来像を描けるよう取組をお願いしたい。</p> <p>○1, 2年生の校外模試における偏差値50以上を50名以上という目標が設定されているが、結果はどうだったのか。</p> <p>○3学科とも進路確定に向けて取り組みをされているようにお見受けします。先生方のご支援が今年も良き結果につながっているとよいです。</p>
	④ 進路実現を補完する 事項の精選	進路指導部	3.0	<p>○生徒の自主性を取り入れている。</p> <p>○本人が自分のことを考える、生徒の自主性を促したとのことで、自主性につながるようにしたことは、今後生徒のためになると思う。</p> <p>○福祉科の評価指標？に対して、どのような取り組みがなされたのか、良くつかめなかった。</p> <p>○色々と研究や内容の検討に努めていただいていることは理解しました。一方で、結果の考察等を見ると、どのような方法をもって補完するのかあまり把握できませんでした。色々とされているところだと思うので、書き方がもったいない気がします。</p>

令和5年度 宮崎県立妻高等学校 学校関係者評価

学校関係者評価 【 4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：検討の余地がある 1：不十分である 】

重点目標	評価項目	分掌	評価欄 4・3・2・1	学校関係者評価コメント欄
確かな学力の向上	⑤ 進路実現の支援	進路指導部	2.8	<p>○生徒の気持ちやモチベーションを上げる指導をお願いしたい。</p> <p>○改善策に書いてあったと通りと思います。</p> <p>○進路については生徒それぞれであるため、先生方には今後も頑張ってもらいたい。</p> <p>○この項目については、評価指標・数値目標がこの段階で決定していないこともあると思うが、その結果の考察がなされていない。もう少し、工夫が必要ではないか。</p> <p>○学校全体での生徒さんへの関わりがとても素晴らしいと伺っていますし、生徒さんと話してみるとサポートがしっかりしているからありがたいということでした。</p> <p>○反省点等について、しっかり検証していただき、生徒が目指す進路が実現するよう取り組みをお願いしたい。</p> <p>○まず、大学・専門学校の入試は、近年、数年前以上に多様化しているとともに、総合型選抜・推薦入試の比重が高まっているため、なかなか対応に苦慮されているところと感じます。その中で、色々と試行錯誤しながら進路実現の支援をされていることは非常にありがたいことだと思います。また、福祉科、情報ビジネスフロンティア科についても内容の精選を行いながら効率的かつ効果的に実施されている様子も分かりました。</p>
	⑥ 基礎学力の定着	図書渉外部	2.9	<p>○読書は、非常に大事であると感じています。興味ある本で読書する癖を。</p> <p>○一学期より改善されていることは評価できる。</p> <p>○予定された方策や手立ては十分行われていると思われるが、基礎学力の定着という項目に対して、「朝の10分間読書」だけでよいのかは疑問。</p> <p>○読書は、読解力や知識が身につくといった学習面だけでなく、論理的な思考力や集中力などこれから生きていくために必要な力も身につく効果があるため、引き続き推進していただきたい。</p> <p>○目標、方策、手立てに一貫性が無いように見えます。(貸出数や利用数を上げる、が指標ならば、結果もそれに関するものになると思いますが、一見すると違うことを書かれている気がします。)</p>
	⑦ 図書室の有効活用	図書渉外部	3.1	<p>○インターネットの時代ではあるが、本の本来の価値を伝えて欲しい。</p> <p>○今後もよろしくお願いします。</p> <p>○十分な取り組みがなされているように感じるが、自己評価がBである理由がわからない。</p> <p>○読書は、先ほどのコメントのとおり効果があるため、生徒が利用しやすいよう図書室の環境整備を進めていただきたい。</p> <p>○目標、方策、手立てに一貫性が無いように見えます。(授業の有効活用の推進を図る、が指標ならば、結果もそれに関するものになると思いますが、一見すると違うことを書かれている気がします。)</p>
	⑧ ICT教育の推進	キャリア情報部	3.1	<p>○ICT教育は避けては通れないと考えます。ルールの徹底は大変でしょうが、よろしくお願いします。</p> <p>○最も大切なのは、授業での活用方法であり、それによって、どのような良い点が見られたのかを分析して欲しい。</p> <p>○生徒たちがこれからの社会に適用できるようICT教育を積極的に進めていただきたい。また、トラブルに巻き込まれないよう情報モラルやセキュリティ面の指導を徹底していただきたい。</p> <p>○GIGAスクールについて、来年度が3学年とも一人一台端末を持つ初年度になると思います。ICT教育の推進をされている学校であるとともに、生徒がICTを活用して伸びている学校だと感じていますので、ぜひ今後も推進いただければと思います。</p>
	⑨ 創造的な能力と実践的な態度の育成	情報ビジネスフロンティア科	3.8	<p>○継続して取り組んでいただきたい。</p> <p>○市と連携し、市公式LINEのCMを作成するなど、創造性の向上と市行政の質の向上に努めた。</p> <p>○アンケートで生徒自身が、やらないといけないとを自覚している。あとは行動に移してほしい。</p> <p>○十分な取り組みが行われている。</p> <p>○情報ビジネスフロンティア科の取組や生徒さんの学びに対する考え方、またそれを通しての活動はすごいと思います。</p> <p>○様々な場面で妻高生の参加が見受けられる。引き続き積極的に参加していただき、地域活性化に貢献されることを期待します。</p> <p>○様々な取り組みを行っていただいていると感じました。地域活性化にも高校生の時期から貢献していく子どもたちにしていただいていること、それらの機会も活用しながら成長を促していただいていることは素晴らしいと思います。</p>
	⑩ 各種検定取得	情報ビジネスフロンティア科	3.1	<p>○もう少し合格者が増えることを望みます。生徒が頑張ることが大切だと思う。</p> <p>○十分な取り組みが行われている。</p> <p>○各種検定の合格率は高いと思います。</p> <p>○資格を取得することは就職活動においてとても有利であり、資格を取得することで自信にもつながるため、合格率向上のため、更なる取り組みをお願いしたい。</p> <p>○様々な資格検定にチャレンジされていることが分かりました。もし可能であれば生徒たちが達成感をどのように味わっているか、ということも書いていただくとより、取得を目指してもらうことの趣旨や意義が伝わると思います。</p>

令和5年度 宮崎県立妻高等学校 学校関係者評価

学校関係者評価 【 4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：検討の余地がある 1：不十分である 】

重点目標	評価項目	分掌	評価欄 4・3・2・1	学校関係者評価コメント欄
確かな学力の向上	⑪ 基礎基本の定着	情報ビジネス フロンティア科	3.3	○今後もよろしくお願ひします。 ○十分な取り組みが行われている。
	⑫ 専門的知識・技術の定着	福祉科	3.3	○コロナ禍が明け、演習等ができるようになりよかった。 ○十分な取り組みが行われていると考えられるが、学習成果の分析をもう少し盛り込んでほしい。
	⑬ 資格取得の支援	福祉科	3.1	○国家試験合格に向けて、先生方、生徒も頑張っしてほしい。 ○この項目も十分な取り組みがおこなれているが、評価指標がこの時期では評価できない点が問題である。 ○介護福祉国家試験合格率90%以上は、素晴らしい目標だと思います。今後必要な仕事であるため、そのための支援も大切ですね。 ○専門的知識・技術の定着ための取組が実を結び、介護福祉国家試験合格率90%以上の目標が達成されることを期待しています。
	⑭ 難関国公立大学及び医歯薬系への進学指導	文理科学 コース	3.0	○今後も頑張っしてほしい。 ○十分な取り組みが行われている。 ○先生方の意識・モチベーションが高いと感心しています。それが生徒さんにも伝わり、より高いものにつながっていると思いますし、そのためのカリキュラムなど、しっかりされていると思います。 ○今後の妻高の発展のため、難関大学等の合格者数が増えるよう取り組みを進めていただきたい。 ○余計なお世話だと思いつつなのですが、特に、入学者選抜の方法における一般入試の占める比重が過去とはトレンドが変わってきていることと探究活動や地域活動に熱心に取り組まれている妻高校の現状を踏まえると、進研模試の成果はもちろんだと思うのですが、他の指標で生徒の進学実現力？みたいなものを図れると良い気がしました。経験で物を言ってしまう申し訳ないのですが、学力の意味も多様化していることや入学者選抜の評価基準も多様化していることから、なかなか偏差値を測るような模試が機能しなくなっているのでは？と思うところがあります。
	⑮ これからの大学入試を見据えた学びの推進	文理科学 コース	3.8	○生徒の取り組む意欲が持続できるように頑張っっていただきたい。 ○様々なことに参加し経験することは、今後の学業にも活かせると思います。 ○十分な取り組みが行われている。今後にも期待したい。 ○主体性やプレゼンテーション能力は社会においても必要であるため、引き続き取り組みをお願いしたい。 ○良い取り組みをされていると思います。だからこそ、今後は、ここで得た経験や力が大学入試にどう生きたのか、は分析いただくと良いと感じました。
妻高ブランドの確立	⑯ 各学科・コースの魅力づくりの推進	教務部	3.9	○妻高を志願する中学生が増えるためには大事だと思います。 ○多様な学科を備えており、各々魅力づくりが行われている。 ○中学1・2年生もオープンスクールに参加できるようにされているので、早い段階での進路決定できると思う。 ○十分な取り組みが行われている。 ○妻高の魅力づくりやオープンスクールの内容の充実に更に努めていただき、多くの市内中学生が妻高へ進学することを期待します。
	⑰ 特別活動の推進	生徒 指導部	3.0	○体力向上についても取り組んでいただきたい。 ○部活動は、外部指導者と連携を図らないと先生方も大変と思われます。 ○部活動以外にも地元の行事等に積極的に参加していると思います。 ○部活動加入率は目標を達成できてはいませんが、この目標が本当に必要なのかを検討することも必要ではない。 ○「方策・手立て」に対する「結果の考察・分析及び改善策等」について、もう少し記載していただきたい。
	⑱ PTAとの連携	図書 渉外部	3.1	○魅力あるPTA活動にしていきたい。 ○各委員会に先生方に協力をいただきありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。 ○来年度に向けて委員会活動の見直しをしたい、と書かれているがその理由を明確に示してほしい。 ○PTA役員の方々をはじめ学校と保護者の方々との連携が十分に取れていると思います。そのため、妻高ブランドがますます魅力あるものになってきているのだと思います。
	⑲ 魅力作りの推進	図書 渉外部	3.5	○今後もよろしくお願ひします。 ○自己評価がAとなっているが、結果の考察等を見ると、それに対応した内容とは思えない。 ○妻高ブランドは、しっかりとできあがりつつあると感じています。 ○進路実現に向けた小論文指導や教科指導のための適切な書籍がまだ十分に揃っていない。蔵書の整備は計画的に実施されているとのことだが、記載のとおり適切な書籍の選択をお願いしたい。

令和5年度 宮崎県立妻高等学校 学校関係者評価

学校関係者評価 【 4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：検討の余地がある 1：不十分である 】

重点目標	評価項目	分掌	評価欄 4・3・2・1	学校関係者評価コメント欄
妻高ブランドの確立	⑳ キャリア教育の充実	キャリア情報部	3.1	○探究活動については、先生方にはご苦勞をおかけしますが、生徒たちはやりがいを感じていると聞いています。 ○探究活動はこれからの学びの中では重要になってくると考えられるので、方法等の見直しを行いながら、充実を図ってほしい。 ○「方策・手立て」にある大学や企業訪問等の実績について、教えていただきたい。
	㉑ 各学科・コースの魅力づくりの推進	文理科学コース	3.5	○異学年交流の大切さを伝えていただきたい。 ○小中学校との連携活動は大事だと思う。 ○十分な取り組みが行われている。 ○国立大学への進学やそれに向けてのサポートなど、学校としての生徒さんへの関わりは素晴らしいものがあると思います。
豊かな心の育成	㉒ 基本的な生活習慣の確立	生徒指導部	2.4	○学校内だけではなく、日常生活の中から改善周知する必要があるのでは。 ○挨拶についてはしっかりしていると思う。問題行動、スマホのイエローカードについては、指導よろしく願います。 ○取り組みは行われているが、なかなか成果につながっていない印象。ヘルメット着用率や施錠率がなかなか伸びないのはわかるが、今後も改善に取り組んでほしい。 ○高校のみならず小学校のうちからしっかりと指導していく必要があると同時に、保護者の方々への協力も必要になってくると感じます。 ○ヘルメットの着用が目標の30%以上に対し、2.8%とかなり低い。着用をルール化する動きが広がっており、県内でも着用を校則化した高校もあるようである。 ○かなりご苦勞されていると推察します。引き続きよろしく願います。
	㉓ いのちを大切にす教育の推進	保健環境部	3.4	○薬物問題はすぐそこに潜んでいる問題です。社会に出る前にしっかり学ぶ必要がある。 ○十分な取り組みが行われている。 ○性教育、薬物乱用防止教育など、しっかりと取り組んでいると思います。 ○職員への心肺蘇生法やAEDの講習会は、毎年実施していただきたい。
	㉔ 健康安全教育の推進	保健環境部	3.1	○今後もよろしく願います。 ○方策・手立てがいろいろ書かれているが、その分析が明確ではない。 ○今年度の視力検査C・D評価の生徒の受診率はどうだったのでしょうか。
	㉕ 環境美化・環境整備の充実	保健環境部	3.1	○今後もよろしく願います。 ○十分な取り組みは行われているように感じるが、成果の点（ごみは減量したのか等）では明確に示されている。
	㉖ 毎日の清掃の徹底	保健環境部	2.9	○今後もよろしく願います。 ○師弟同行、率先垂範は実現されたのか、あまり明白に書かれていない。 ○外観はとてもきれいに見えます。
	㉗ 防災教育の充実	保健環境部	3.4	○今回の能登半島地震が起り、防災についてもっと学ぶ必要を感じます。 ○十分な取り組みが行われているように思えるが、自己評価がBである理由がわからない。
	㉘ 不登校傾向の生徒、「いじめ」への取り組み	教育相談部	2.9	○不登校は、小中でも全国的な難しい問題です。本人の個性を尊重して、何とか伸ばす対応をお願いしたい。 ○難しい問題だと思います。保護者とも連携して対応をお願いしたい。 ○十分な取り組みが行われているように思えるが、実際の成果についてはわかりづらい。 ○1年間での転退学者は、昔も今もいるのでしょうか、「いじめ」とかに限らず、自分に合わないという簡単な理由の生徒さんもいるのではないのでしょうか？ ○職員がいじめに対する意識の向上を図り、認知したいじめについては解消するまで指導に努めていただきたい。
	㉙ 特別支援の必要な生徒への取り組み	教育相談部	3.1	○今後もよろしく願います。 ○個々の生徒の理解を進めていくことは、重要なので、今後も取組を進めてほしい。 ○自分たちが高校生のころは、支援学校との連携は全くありませんでした。人材育成を考えるのであれば、このような連携は必要だと思いますし、実際取り組まれていますごいと思います。 ○現在、把握している支援の必要な生徒は何人でしょうか。各々の状況に応じた適正な支援計画の作成をお願いしたい。
	㉚ 教育相談部の組織及び取り組み	教育相談部	3.1	○今後もよろしく願います。 ○相談室の環境の整備は今後取り組んでほしい。 ○相談室の環境整備については、しっかりと取り組んでいただきたい。
	㉛ 福祉職としての心得	福祉科	3.5	○実習で学ぶことは多いと思います。小中学校との交流も評価できます。 ○心の育成をどのように評価したのかが、良く把握できない。 ○先生方の御指導や施設、設備はとても素晴らしいと思います。また、生徒さんの福祉に対する思いもしっかりしているなど感じています。 ○十分に取り組まれている。今後も継続していただきたい。

令和5年度 宮崎県立妻高等学校 学校関係者評価

学校関係者評価 【 4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：検討の余地がある 1：不十分である 】

重点目標	評価項目	分掌	評価欄 4・3・2・1	学校関係者評価コメント欄
地域とともにある学校創り	③② コミュニティ スクールの推進	教務部	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ○中高の連携を良くやっていただいている。 ○積極的に中学校との連携を行ってほしい。 ○十分な取り組みが行われているが、その効果をどのように評価するのかを今後検討してほしい。 ○事業計画には小学生との交流も計画されているが、小学生との連携の実績は。 ○できていないので「検討の余地がある」としているわけではありません。書かれていることだけではなく、色々と中高連携をしていると思いますので、もっとお書きいただいた方が良いと思います。また、学校運営協議会に3年関わっている身として、もっとコミュニティスクールとして行っていることはあると思っています。しっかりと実績を書きいただければ良いと思います。(沢山の方が、協力いただいているので、もったいないと思います)
	③③ 地域・小中連携の推進	生徒指導部	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ○中高の連携を良くやっていただいている。 ○ボランティア活動への参加が増えたことは良いことだと思います。 ○地域・小中連携の推進と交通マナーとの関連がよくわからない。 ○小学生の学校訪問を快く受け入れてくださって、それにより小学生が妻高校への憧れを強く持つようになってきています。 ○自転車交通安全モデル校として、何か具体的な取組はされたのでしょうか。 ○できていないので「検討の余地がある」としているわけではありません。書かれていることだけではなく、色々と地域連携、中高連携をしていると思いますので、もっとお書きいただいた方が良いと思います。
	③④ コミュニティ スクールの推進	図書渉外部	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ○今後もよろしくお願いします。 ○十分な取り組みが行われている。 ○100周年記念事業により、地域とともにある学校づくりが進んだのではないかと 思う。引き続き取組をお願いしたい。
	③⑤ 広報活動の充実	キャリア情報部	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ○インスタグラムの積極的な活用が見られた。 ○インスタグラム等のSNSを行っていることを、中学生への説明会に話してほしい。 ○十分な取り組みが行われている。 ○引き続き、妻高の情報を発信し、PRに努めてほしい。
	③⑥ 中高連携	文理科学コース	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ○今後もよろしくお願いします。 ○十分な取り組みが行われているように思えるが、なぜ自己評価がBなのかが良く把握できない。 ○妻中の生徒さんの中に文理科学コースに進学したいという子がたくさんいて、生徒同士、生徒と妻高との関わりや連携が十分取れていると感じています。 ○できていないので「検討の余地がある」としているわけではありません。書かれていることだけではなく、色々と中高連携をしていると思いますので、もっとお書きいただいた方が良いと思います。